

第63回入学式の風景

令和7年4月掲載

穏やかな天気の元、第63回入学式が4月8日(火)、197名の新入生を迎えて執り行われました。

私の式辞を紹介します。「桜の花は冬の低温と春先の気温の上昇などの条件が整うと開花します。専門的には積算温度、つまり積み重なった温度が一定基準に達することで開花するのです。我々人間の世界でも様々な環境の中、学習や練習、研修を積み重ねながら成長し、やがて人生において唯一無二の花を咲かせることと同様なのかもしれません。

学習でも積み重ねが大切なことであることは知られています。ただし、積み重ねるための条件があります。例えば、高いビルディングも基礎部分がしっかりとしてこそ、その上に積み重なる上層階が高くなっていくのです。皆さんはこのことをしっかりと認識して、共通教科を基礎部分として専門教科の知識を積み重ねていってください。

専門教科の技術的な面では全員スタートラインは同じです。取り組む姿勢によって成果が異なってきます。実験・実習など実践的学習はとても大切なものです、決して作業ではありません。何のために、何を目指して、何を考えて、どのように判断し、いかに表現していくかが問われます。表現方法は様々ありますが定期試験・レポート・作文・発表・作品制作・行動・取り組む姿勢など多岐にわたります。ただし、表現のみが重要であるかの如く考えがちですが、一連の過程



見ごろを迎えた本校のソメイヨシノ

フラワーデザイン部と草花専攻生による作品



が重要となってくることを覚えておいてください。在学中にこの力をぜひ身に付けて、さらに磨いていってほしいと思います。」と新入生に送りました。

3年後、卒業式の日までに唯一無二でしかも素敵な花を咲かせてほしいですね。